



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月27日

上場取引所 東

上場会社名 フジ日本精糖株式会社
 コード番号 2114 URL <http://www.fnsugar.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江口 達夫
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部本部長 (氏名) 福田 弘
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 03-3667-7811

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	14,691	△0.3	981	△29.9	1,076	△29.3	557	△42.7
23年3月期第3四半期	14,738	△0.4	1,401	1.5	1,523	2.3	973	59.1

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 591百万円 (△32.1%) 23年3月期第3四半期 871百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	20.84	—
23年3月期第3四半期	36.69	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	18,838	12,687	67.3
23年3月期	17,844	12,425	69.6

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 12,687百万円 23年3月期 12,425百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	4.3	1,300	△12.5	1,400	△13.3	800	△20.5	29.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	29,748,200 株	23年3月期	29,748,200 株
24年3月期3Q	3,006,484 株	23年3月期	2,978,937 株
24年3月期3Q	26,748,045 株	23年3月期3Q	26,526,167 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による停滞から緩やかに持ち直しているものの、欧州債務危機による金融市場の悪化懸念、円高の長期化、中長期的な電力不足問題など、依然として先行きは不透明な状況にあります。

このような環境下、当社グループは、安心・安全な製品の安定供給を最重要課題として取り組むとともに、機能性食品素材「イヌリン」の拡販、新たな素材の研究開発に注力してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高14,691百万円（前年同期比0.3%減）、営業利益981百万円（同29.9%減）、経常利益1,076百万円（同29.3%減）となり、特別損失として投資有価証券評価損81百万円など総額94百万円を計上した結果、四半期純利益は557百万円（同42.7%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 精糖事業

精糖事業の業績は、売上高10,050百万円（前年同期比0.3%減）、営業利益1,097百万円（同26.5%減）となりました。売上高は、期初において電力供給問題からの前倒し需要があったものの、その後、販売価格の先安感から低調な荷動きとなり、販売数量が前年同期比で減少した結果、減収となりました。損益面では、販売数量の減少に加え、原材料価格及びエネルギーコストの上昇により、前年同期比で減益となりました。

② 機能性素材事業

機能性素材事業の業績は、売上高4,182百万円（前年同期比0.0%増）、営業利益23百万円（同41.2%増）となりました。売上高は、連結子会社ユニテックフーズ㈱のOEM関連事業において東日本大震災による販売減等があったものの、当社の機能性食品部門において、イヌリンを主原料とした大手食品ユーザーの脂肪代替商品が前期後半より引き続き好調に推移した結果、ほぼ前年同期並となりました。損益面では、イヌリンの増収による収益改善や各部門においてコスト削減に努めた結果、前年同期比で増益となりました。

③ 不動産事業

不動産事業の業績は、売上高459百万円（前年同期比3.3%減）、営業利益395百万円（同3.3%減）となりました。本社ビルの一部が空室となったため、若干ながら前年同期比で減収減益となりましたが、安定収益の確保に貢献いたしました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ5.6%増加し、18,838百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各財政状態の変動状況は、次のとおりであります。

① 資産

資産につきましては、流動資産で前連結会計年度末に比べ18.5%増加し、8,549百万円となりました。これは主に棚卸資産の増加等によるものであります。

また、固定資産は前連結会計年度末に比べ3.2%減少し、10,289百万円となりました。これは主に投資その他の資産「その他」に含まれる繰延税金資産の減少等によるものであります。

② 負債

負債につきましては、流動負債で前連結会計年度末に比べ27.7%増加し、4,589百万円となりました。これは主に仕入債務の増加等によるものであります。

また、固定負債は前連結会計年度末に比べ14.4%減少し、1,561百万円となりました。これは主に長期借入金の減少等によるものであります。

③ 純資産

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ2.1%増加し、12,687百万円となりました。これは主に四半期純利益計上による利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループを取り巻く市場環境は依然として不透明な状況で推移すると思われませんが、現時点においては、前回発表（平成23年10月31日）の業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社が発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,576,119	1,774,452
受取手形及び売掛金	1,750,397	1,835,787
有価証券	322,050	322,064
商品及び製品	1,220,131	1,749,282
仕掛品	127,079	124,302
原材料及び貯蔵品	1,284,726	1,064,882
その他	940,434	1,680,940
貸倒引当金	△5,368	△2,401
流動資産合計	7,215,571	8,549,310
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	725,433	684,615
機械装置及び運搬具(純額)	143,657	170,554
土地	2,048,834	2,048,834
その他(純額)	51,257	113,967
有形固定資産合計	2,969,183	3,017,972
無形固定資産		
のれん	1,009,765	928,774
その他	60,147	72,407
無形固定資産合計	1,069,912	1,001,182
投資その他の資産		
投資有価証券	3,927,798	3,888,379
関係会社長期貸付金	1,804,900	1,937,100
その他	955,007	533,172
貸倒引当金	△98,181	△88,470
投資その他の資産合計	6,589,523	6,270,180
固定資産合計	10,628,619	10,289,335
資産合計	17,844,191	18,838,646

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	809,033	1,175,319
短期借入金	1,826,364	1,825,776
未払法人税等	220,507	64,793
賞与引当金	114,914	60,754
役員賞与引当金	13,820	9,190
その他	609,044	1,453,662
流動負債合計	3,593,683	4,589,495
固定負債		
長期借入金	731,075	560,564
退職給付引当金	441,001	368,341
役員退職慰労引当金	133,899	140,397
資産除去債務	53,693	54,101
持分法適用に伴う負債	16,313	—
その他	448,602	437,997
固定負債合計	1,824,585	1,561,401
負債合計	5,418,268	6,150,896
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,524,460	1,524,460
資本剰余金	2,524,249	2,524,249
利益剰余金	8,926,603	9,162,787
自己株式	△732,754	△741,210
株主資本合計	12,242,558	12,470,287
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	186,948	220,019
繰延ヘッジ損益	△3,583	△2,557
その他の包括利益累計額合計	183,364	217,462
純資産合計	12,425,922	12,687,749
負債純資産合計	17,844,191	18,838,646

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	14,738,362	14,691,589
売上原価	10,916,384	11,320,828
売上総利益	3,821,978	3,370,761
販売費及び一般管理費	2,420,594	2,388,808
営業利益	1,401,383	981,952
営業外収益		
受取利息	36,987	37,964
受取配当金	37,282	43,613
持分法による投資利益	86,774	47,000
その他	15,922	15,411
営業外収益合計	176,966	143,989
営業外費用		
支払利息	34,949	26,500
匿名組合投資損失	17,215	16,270
その他	2,775	6,623
営業外費用合計	54,940	49,394
経常利益	1,523,409	1,076,547
特別利益		
投資有価証券売却益	1,530	—
特別利益合計	1,530	—
特別損失		
減損損失	3,527	9,125
投資有価証券評価損	—	81,454
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	35,908	—
その他	2,092	4,104
特別損失合計	41,528	94,684
税金等調整前四半期純利益	1,483,410	981,863
法人税、住民税及び事業税	454,694	317,788
法人税等調整額	55,476	106,658
法人税等合計	510,171	424,447
少数株主損益調整前四半期純利益	973,239	557,415
四半期純利益	973,239	557,415

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	973,239	557,415
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△102,798	33,071
繰延ヘッジ損益	747	1,026
その他の包括利益合計	△102,051	34,097
四半期包括利益	871,187	591,513
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	871,187	591,513
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成 22年 4月 1日 至 平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	精糖事業	機能性素材 事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,081,725	4,182,132	474,504	14,738,362	—	14,738,362
セグメント間の内部売上高 又は振替高	10,714	1,160	832	12,707	△12,707	—
計	10,092,440	4,183,293	475,336	14,751,070	△12,707	14,738,362
セグメント利益	1,493,426	16,888	409,338	1,919,653	△518,270	1,401,383

(注) 1 セグメント利益の調整額518,270千円は、報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門及び研究開発室に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成23年 4月 1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	精糖事業	機能性素材 事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,050,018	4,182,554	459,017	14,691,589	—	14,691,589
セグメント間の内部売上高 又は振替高	10,112	578	832	11,523	△11,523	—
計	10,060,130	4,183,132	459,850	14,703,113	△11,523	14,691,589
セグメント利益	1,097,587	23,844	395,975	1,517,407	△535,455	981,952

(注) 1 セグメント利益の調整額535,455千円は、報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門及び研究開発室に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

当第3四半期連結累計期間
(自 平成23年4月1日
至 平成23年12月31日)

当社は、平成23年12月22日開催の取締役会において、Bangkok Inter Food Co.,Ltd. (以下、BIF社)及びThai Fermentation Industry Co.,Ltd. (以下、TFI社)との3社で、タイにおける合弁会社を設立することの決議を行い、平成24年1月21日付けで合弁契約を締結いたしました。

その主な内容は、次のとおりであります。

1. 合弁会社設立の目的

当社は、現在、日本国内において当社独自の技術（国際特許取得）により砂糖を原料とした機能性食品素材「イヌリン」の製造販売を行っておりますが、販売数量の増加に伴い、当該事業の更なる成長戦略として海外での事業展開を検討してまいりました。

タイは原料である砂糖の生産国であり、加工食品においても世界有数の生産国であります。近年では、タイ政府もインフラの改善や外国企業の積極的な誘致等により食品加工関連の投資が増加しております。

その様な状況下、当社はタイ国で食品素材の製造、食品事業のノウハウ及び実績があるBIF社、TFI社とグローバル市場において価格競争力のある「イヌリン」を製造販売するために合弁会社を共同で設立することといたしました。

2. 合併会社の概要

(1)商号	Fuji Nihon Thai Inulin Co.,Ltd. (仮称)	
(2)所在地	タイ国バンコク都 (本社)	
	タイ国ラチャブuri県 (工場)	
(3)代表者	Somchat Chinthammit	
(4)事業内容	機能性食品素材「イヌリン」の製造販売	
(5)資本金	3億バーツ	
(6)設立年月	2012年4月 (予定)	
(7)出資比率	フジ日本精糖株式会社	55.0%
	Bangkok Inter Food Co.,Ltd.	22.5%
	Thai Fermentation Industry Co.,Ltd.	22.5%
(8)決算期	3月末日	
(9)稼働開始時期	2013年11月 (予定)	

3. 合弁相手先の概要

①Bangkok Inter Food Co.,Ltd.

(1)商号	Bangkok Inter Food Co.,Ltd.	
(2)所在地	タイ国バンコク都	
(3)代表者	Sompop Chinthammit	
(4)事業内容	米粉等の製造販売	
(5)資本金	1億バーツ	
(6)設立年月	1987年1月	
(7)大株主	Thai Flour Industry Co.,Ltd.	50.0%
(8)当社との関係	資本関係、取引関係、人的関係等はありません。	

②Thai Fermentation Industry Co.,Ltd.

(1)商号	Thai Fermentation Industry Co.,Ltd.	
(2)所在地	タイ国バンコク都	
(3)代表者	Chamroon Chinthammit	
(4)事業内容	グルタミン酸ナトリウムの製造販売	
(5)資本金	4.2億バーツ	
(6)設立年月	1966年12月	
(7)大株主	Ve Wong Corporation	49.0%
(8)当社との関係	資本関係、取引関係、人的関係等はありません。	

4. 今後の見通し

当該合弁会社は当社の連結子会社となりますが、平成24年3月期の連結業績に与える影響はありません。